

平成26年度 第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会会議録

◇日時：平成27年2月24日（火）10時00分～

◇会場：花川南コミュニティーセンター

◇出席：松島肇（会長）、伊井義人、石山優子、内藤華子、原田京子、北條静香、
欠席：安田秀子（副会長）、荒井一洋、岩城寧子
事務局：本間博人（センター長）、宮原和智（主査）、藤彰矩（主事）

◇傍聴者：3名

◇議題

1. 平成27年度事業について
2. 石狩浜海浜植物保護センターの管理運営について
3. その他

◇議事

1. 平成27年度事業について

【事務局】（資料1説明）

【松島】

資料1、平成27年度事業計画について何かご質問等ございましたらお願いいたします。

【内藤】

パトウォークの活動を今年度よりファンクラブと市が協働で月1回行ってきたが、この内容を札幌建設管理部にはどれくらいの頻度で報告若しくは連絡しているのか、また今年度の環境保全連絡会議がもし開かれていたならば、その場で管理者はどのように捉えられているのか教えてください。

【藤】

パトウォークを行う1週間前などに札幌建設管理部に連絡し、今月も引き続き行う旨を伝えており、その中で補修資材等提供を用意がある連絡を受けている。環境保全連絡会議に関しては、来週3日に開催する予定で、パトウォークの取り組みについてはその場でも話す予定です。

【内藤】

それでは、管理者に関しては、引き続きパトウォークを行うことに対しては、前向きに捉えており、支援も可能な範囲で継続ということでしょうか。

【本間】

可能な限りで色々な協力はして頂けるとの話です。札幌建設管理部においても道路側ではありますが、チェーンで保護柵の改修をされており、来週の環境保全連絡会議でも話をしていきたいと思っております。また、保護区の拡大も含めた検討を進めていきたいと思っております。

【松 島】

1点確認ですが、札幌建設管理部が改修等を行う時事前に市、ファンクラブ等に相談等はありませんでしたか。

【本 間】

残念ながらありませんでした。ただ単純に、通常の改修ということで行ったものだと思います。

【松 島】

効果的に保全を図っていく上で、地道に現地を回られて活動される方々や柵の補修を行う方々がいる中で、どのような管理方法が効果的か話し合う場として環境保全会議の場などで少しでも話ができると良いと思いますので、是非ご提案いただけると幸いです。

【本 間】

了解しました。

【伊 井】

この事業計画を立てる上で、当年度事業を改善し継続するにあたりどの点を改善したかなどがもう少し分かれば、より良いと思います。

【松 島】

本来ならば前年度の事業報告があり、それに対してどのように来年度事業を立てて行くかを考えていくことが大事ですので、裏付けなどをより詳しく説明して頂けると良いかと思います。

【事務局】

了解しました。

【原 田】

海浜植物保護地区監視・管理とありますが、監視員さんに堤防の上の河口の碑周辺の清掃や手入れ等を少しお願いできませんでしょうか。

【松 島】

基本的に監視員さんの仕事は保護地区に車が入っていないかを監視することで、業務外ではあるが既にゴミ拾いや草刈などは一部やって頂いていますが、原田さんのご指摘は市民目線のご指摘で、どこの部署が行うかなど役所内の管轄などはあるとは思いますが、現状として荒れている現状がありますので、次年度は良くなるようにご協力頂ければと思います。よろしいでしょうか。

【原 田】

はい。

【松 島】

他に何かございますでしょうか。

【石 山】

来年度継続をやめた事業などはございますか。例えば自然案内人の育成についてはどのような扱いでしょうか。

【藤】

育成講座は、前回開催した時と同様に廃止ではなく、休止という形になります。

【石 山】

個人的にはセンターを支えるボランティアの数は増えていってほしいと思っていますが、何か体制的な問題があるのですか。

【本 間】

現状では受講された方のスキルアップを目指すことが課題となっており、将来的には、現在保護センターの職員が行っている学校単位の授業や出前講座などの講師などを担う役割に育ってほしいと思っており、後ほどの議題にもありますがアウトソーシングした先でそういった動きになっていけばと思っています。

【内 藤】

今年度の来館者数は何名で、増減の理由は何でしょうか。

【藤】

11,382 人です。増減の理由として、ハマナスフェスティバルの来場者増と学校の校数が増えたことが理由と考えられます。

【内 藤】

学校のほうも継続事業となっていますが、より重点事業の位置づけになっており、学校の受け入れ態勢を整えていかなければならず、後の話にも繋がっていくかと思いますが、案内人の体制を整えていくなど、受け入れ態勢を考えて行かなければならないと思います。

【松 島】

時間も押してきましたので、来年度事業予定はこれでよろしいでしょうか。

【委 員】

異議なし

2. 石狩浜海浜植物保護センターの管理運営について

【事務局】

資料 2-1、2-2、2-3 説明

【松 島】

今年度の作業としましては、この資料 2-3 石狩浜海浜植物保護センター管理運営に関する基本的な考え方というものを承認し、詳細については来年度詰めて行くことになります。

只今のご説明に対し何かご質問等ございましたらお願いいたします。

少し基本的な事でお伺いしたいですが、契約は入札方式若しくは随意契約どちらを想定されていますか。

【本 間】

随意契約を想定しております。

【松 島】

最低限は3名を配置できる予算を確保される予定ですか。

【本 間】

予算もあまりない中ですが、最低限センターに常時いる2名、常時いるかどうかは今後詰めていきたいと思いますが、統括の役割1名、合計3名の体制でやっていって頂きたいと思います。

ただ、実際に常時いる方が2名で大丈夫か心配をされており、ファンクラブの会長さん石山さんの話を聞きながら進めて行きたいと思います。

【松 島】

ファンクラブの中でどのようになっているか、他の市民団体さんとお話しされたときどのような雰囲気だったでしょうか。

【石 山】

まだまだこれから話を詰めていくことになります。まずは、事業計画等土台となるものをファンクラブで作成し、他団体の皆さんにもお聞きしながらこの1年行っていきたいと思います。

【松 島】

今のお話しの中にありました運営委員会の庶務についてですが、事前に安田副会長から頂いた内容にも関係しますが、方針の中（資料2-3、2ページ4（2））に、庶務は受託者がするものとする明記されていますが、内容によってこれはできる、できないなど、今後相談していくことも出てくるかと思いますが、そういう形で27年度の話の中で庶務事務の内容を切り分けていくことはできますでしょうか。

【本 間】

調整はできるかと思いますが、通常の会議の招集や事業計画などは受託者が行うものなので、資料の作成などは可能かと思いますが、安田副会長から事前に頂いた内容に、運営委員会開催日の調整、運営委員会資料作成、会長への資料と招集文の内容確認、運営委員会招集文の郵送、運営委員会会場確保、運営委員会資料印刷、運営委員会の録音、議事録作成、会長への内容確認、市HPへの運営委員会資料と議事録の公開、等と頂いておりますが、HPへの公開などについては役割分担はあるかと思いますが、会議を開くという庶務事務についてはお願いしたいと思います。

中身によって分担できることもありますので、調整していければと思います。基本的にはそこまでやって頂きたいと考えております。

【石 山】

個人的にはそこまではと思います。

【内 藤】

運営委員会は市の審議会に準ずるかたちで行われていますが、どのようになっていきますか。

【本 間】

まだはっきりしていないので詰めていかなければなりません、市の審議会と同じレベル、相当するものでは無くなるのかと思います。

【松 島】

条例の規則ではセンターが庶務を担当すると明記されていますが、その庶務を担当するのが、センターの事業を受託した団体になるのか、施設を管理する市になるのかにも関わってきますのでもう一度ご確認いただければと思います。

他には何かございませんか。

【伊 井】

こういったアウトソーシングを行う利点のひとつにより柔軟性のある企画が想定されますが、どれくらい可能でしょうか。どれくらい予算に縛られてしまうのですか。また、仮に学校の子供たちが来た時に1人100円取るなど可能となるのでしょうか。

【本 間】

市の予算についてお話ししますと、市の予算は事細かに定められており、その用途を変更することは難しいですが、委託にすると、大枠は変わりませんが用途の変更はより自由になりますので、そういった中で事業が工夫されて推進されるメリットがあります。

2つ目については、基本的には委託中は営利を目的とすることは難しいと思います。ただ、指定管理者として施設の管理も含め一括して委託することになれば、ある程度そういった制約をとって運営できる形にしていきたいです。ただ、施設は市が管理しており、運営は民間という状況でどこまで営利な事が出来るかは、まだそこははっきりしていません。

【伊 井】

そういったことも詰めていく必要があるかと思います。また、予算のヒアリングの時にファンクラブも関与することができるのでしょうか。

【本 間】

ヒアリングに入ることは難しいと思います。その代わりですが、受託者が作成した事業計画を運営委員会の中で議論していることを担保として予算要求することになります。

【松 島】

予算規模はどれくらいでしょうか。

【本 間】

後ほどその他の議題でご説明しようとしたのですが、通常の来年度の運営費で686万、ハナマス再生プロジェクトということで112万4千円、合わせて798万4千円予算要求しています。因みに対前年度比3%減となっていますが、辛うじて運営費については大幅な減を免れています。28年度以降はどうなるか分かりません。

【内 藤】

686万というのは監視員の人件費など含む保全事業全部含めての話ですか？

【本 間】

全て含めての話です。委託するときは監視員などの金額を抜いた額となり686万より下がった金額になってしまいますが、上手くいかない可能性はありますが、686万より下げない形で必要経費を積み上げて行きたいと思います。

【松 島】

今のお話だと施設の管理の部分についても別に担保するというのでしょうか。

【本 間】

はいそうです。実際に委託するときは、事業予算と、運営予算に分かれると思います。事業予算の方に大きくとれるようにしていきたいと思っております。

【松 島】

それでは基本的な考え方の枠の方を確定させていきたいと思いますが、新しくできる運営委員会に関して先ほどのお話だと、市の審議会というよりは市民団体が運営する委員会というニュアンスになるのでしょうか。

【本 間】

市が委嘱するのかなど詰めなければならぬことはありますが、外部評議会といった形になると思います。

【松 島】

外部評議会といったものは、条例に定められるものになるのでしょうか。

【本 間】

おそらく受託者が庶務を運営することになれば、その条例から外す形になると思いますが、今の段階で判断できないので検討させて下さい。

【松 島】

外れた場合運営委員会自体が開催されない可能性も出てくるのではないのでしょうか。

【本 間】

それは業務の仕様書の中に盛り込んでいくことになっていくと思います。外部評議会に市も入っていくとイメージしておりましたが、メンバー含め詰めていきたいと思います。

【松 島】

本来ならば荒井さんにご意見をお聞きしたかったところではありますが、ご病気とのことですのでいたしかたないので、メール等でお聞きできればと思います。

あと、責任の所在などについても固めればと思いますが、委託された場合、雇用主は団体となると思いますが、その団体が法人格を持っていない場合、その責任は代表個人のものになってしまうといったようにその辺りを少しクリアにしていきたいと思います。

【本 間】

先月打合せされ、その結果についても報告を頂いておりました。その辺りについてもこの場では申し上げることができないので、次年度詳細を決めていく中で市としてもある程度形を決めて報告できればと思います。もしそれができなくなりますと、そもそも論になってきますので、その辺りは早急に詰めて行きたいと思っております。

【松 島】

私が懸念しているのは、そのそもそも論のところであり、上手くいかなかったときに、委託方針の見直しまで戻ってやり直さなければならないのか、それとも別の団体を探していく方向で進めて行くのか、この辺りは行ったり来たりが多少あると思いますので、その辺りをある程度ご了承頂いて今回の方針で進めて行くのか、皆様から同意を頂ければと思います。

【本 間】

私が調べる中で、今回のケースは初めてのケースではなく、他の市町村でも協議会形式で委託し、施設を運営するケースもありますので、その辺りもきちんと確認していきたいと思います。

【石 山】

年間事業計画を作成するのは受託者になると思いますが、もっと大きい枠でこうしていきたいといった計画を作成してもよろしいのでしょうか。

【本 間】

勿論大丈夫です。その目標に向けて年間事業計画を立てて頂ければいいと思います。それに合わせてどれくらい経費がかかるのかといったことも含め、市も関与する新運営委員会に提案して頂ければ、事前に調整もできますので問題ないかと思えます。

【松 島】

はまなす再生園の管理は市が行うのか、受託者が行うのかどちらでしょうか。

【本 間】

ソフト面として、受託者に行って頂きたいと思えます。

【松 島】

再生も含めた管理運営となりますね。

【内 藤】

それまでにはウッドチップの敷設などベースは完成しているということですか。

【本 間】

その予定でございます。

【松 島】

資料2-3、3ページに名称変更などが記載されていますが、もっと速めることはできないのでしょうか。例えば、保護センターの名称は残しておいて、その愛称の様な形でネイチャーセンターといったものを出すことは可能でしょうか。

【本 間】

昨年から名称に関しては私も思うことがありましたので、このアウトソーシングを考える中で、きっかけとしてこのタイミングが良いのかと思いました。

【松 島】

最近センター前にのぼりを立てるなど工夫をしてより親しみやすい館にしていますが、名称だけを聞きますと、保護増殖、研究施設といった堅いイメージがありますから、ヴィジターセンターの様にお客さんが気楽に訪れることができるような名称変更も検討できたら良いと思えます。

【北 條】

名称に関しては以前から堅苦しいと意見させて頂いておりましたが、アウトソーシングに関しまして、皆様のご意見をお聞きする中で、責任の所在含め、予算案などより詰めた内容が見えてこない、受ける側としてのたたき台も作りにくいのかなと思いました。予算につきましても自分達で提案していくことももちろん大切ではありますが、あ

る程度ここまではいいといった情報を提示してあげることで、今後の事業内容を作りやすいのかなと思います。

【本 間】

確かに白紙に絵を書けと言われても難しいところがあるかと思いますが。とは思っていましたが、これだけしかないからこの範囲でお願いしますと最初から提示してしまうことが創意工夫になるのかといったこともあり、また、3月に仮の事業計画を作成してみようという話もあることもありましたので、あまり予算の話をするのを控えさせておりました。

【北 條】

今までも行ってきた事業は継続ですが、学校に関しても、一保護者として関わらせて頂いている学校がいくつかあり、学校の授業の一環で行っている内容に関して、ボランティアとしてどのように関わっていくかは気になっているところがございます。こういったことも含め分かりやすくたたき台を作成していくには、土台がしっかりしていることが大切かと改めて思いましたので、今後もその確認だけは今後も分かりやすく提示して頂く必要があるかと思えます。

【松 島】

委託にあたり、現在の事業は基本的には継続していくことになるかと考えてよろしいでしょうか。

【本 間】

はい、そう考えております。市からは最低限これは行って下さいと提示し、それ+ α の工夫になると思えます。

【松 島】

先ほどおっしゃってました他の市町村のケーススタディについても今後提示して頂ければ見えてくると思えますのでお願いいたします。

【内 藤】

荒井さんはこの件について沢山ご存知かと思えますが、何か個別に話をしたことはありますか。

【本 間】

今日お聞きする予定でした。

【内藤】

今日がそういう日でしたかもしれませんが、改めて場を設けて頂けると幸いです。

【本 間】

市からも改めて議論できるようご意見をお聞きしフィードバック出来ればと思います。

【松 島】

我々としましても、運営に関わる部分については、なかなかこれでいいのか判断しかねるところもありますので、そのあたりを実際に行っている方にお聞きしたく思えますので、改めて意見等をお聞きしていただくと幸いです。

【伊 井】

この案件に関して次年度はどのようなペースで進んでいくことになりますか。

【本 間】

内容次第ですが、内容がなかなか詰め切れないとなりますと何度かお集まり頂いて話をするようになります。

【内 藤】

この資料2-3が基本方針ということになり、案に議決がとれた時点で次第基本方針が固まったということになるのでしょうか。

【本 間】

そうです。次年度はその案をもとにより具体的な細かい内容を詰めて行くことになります。

【松 島】

今の話はかなり細部の話も含まれていますので、例えば基本方針についてはこれに則り進める、細部の検討の段階で修正が必要となれば方針の修正もするという条件付きの議決はどうでしょうか。

【委 員】

異議なし

【松 島】

それでは、基本的な進め方については了承し、細部については27年度以降の運営委員会において検討し必要に応じてこの基本的な考え方の修正もあり得るということで進めていきたいと思えます。

では、その他の案件についてお願いいたします。

【本 間】

来年度予算案についてご提示する予定でしたが、先ほど述べてしまいました。予算につきましてはまだ確定していないことを加えてお伝えいたします。

【松 島】

では本日の会議を終了したいと思います。

長時間お疲れ様でした。

議事録を確認しました。
平成27年2月27日
石狩浜海浜植物保護センター
運営委員会会長 松島 肇